

担当府省ヒアリング資料 (コンテンツの海外展開の促進関係)

「コンテンツ特区」の創設・・・P1

コンテンツファンドによる海外展開資金の供給・・・P2,3

国際共同製作支援、地域コンテンツの海外展開・・・P4~9

諸外国における規制の緩和・撤廃・・・P10,11

平成23年12月5日

内閣官房 知的財産戦略推進事務局

➤コンテンツ産業は、我が国の新たな産業の柱として、雇用創出や外貨獲得、観光等の他産業への高い波及効果が期待できる。

札幌市の「札幌コンテンツ特区」提案の概要

- 規制緩和とインセンティブを組み合わせることにより、米国やアジアから映画等の大型ロケ撮影を誘致するとともに、域内でのコンテンツ制作・流通を促進することで、「札幌コンテンツ特区」をアジアにおけるコンテンツ産業拠点都市とする。
- 具体的には、ロケ撮影に伴う道路上の撮影許可(道路交通法)、道路の占有許可(道路法)等の規制緩和や、ワンストップで海外からのロケ撮影隊の支援を行う推進組織「Film Sapporo」の設置等を実施する。
- これにより、平成27年度には、ロケ撮影等映像制作の誘致・実施にともなう経済効果は144億円、札幌の事業者が制作した映像の海外輸出額は2.3億円、映像コンテンツ視聴者(外国人)が札幌に観光に訪れる人数として115万人を見込む。

【地域の強み】

国際競争力のある
自然条件

革新的なコンテンツ
産業関係者の集積

【規制緩和】

ロケ関係の許認可
権限委譲・一元化
(ワンストップ窓口)

有償ガイドによるロ
ケーション・コーデ
ィネート 等

【インセンティブ】

コンテンツ・ファンド
の造成・運用 等



【特区制度活用によるメリット】

ロケに係る許認可手続きの簡素化により、効果的なロケマネジメントが可能となり、通常は撮影が許可されない場所での大がかりな撮影が可能となる。

映像制作の件数増加や内容の充実、大型化を通じてコンテンツの地元製作が盛んになる。

制作段階から、観光や教育への二次利用や輸出商品化を意識した映像制作が促進され、地元映像活用の自由度と使い勝手が向上する。

映像を活用した地元PRの機会が増加し、スポンサーが拡大し、多様な業種や企業等からコンテンツ制作に対する投資を集めやすくなる。



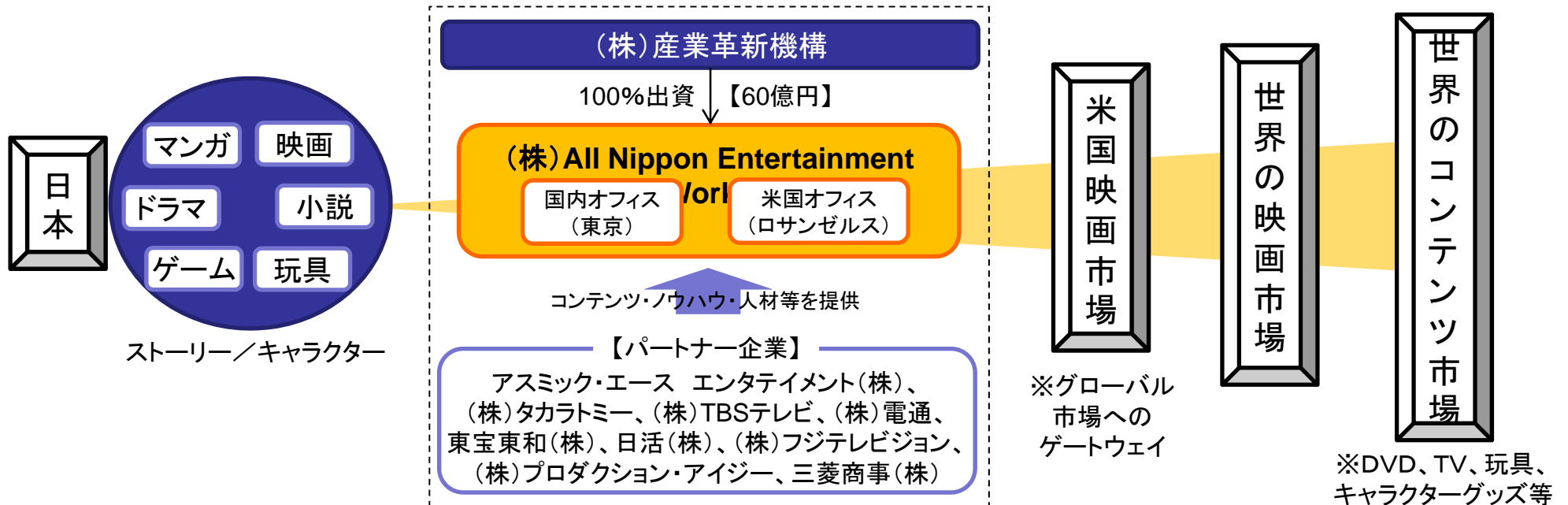
【期待される効果】

ロケ件数・日数の増加による地元経済への波及効果の増大

地元雇用・起業の拡大

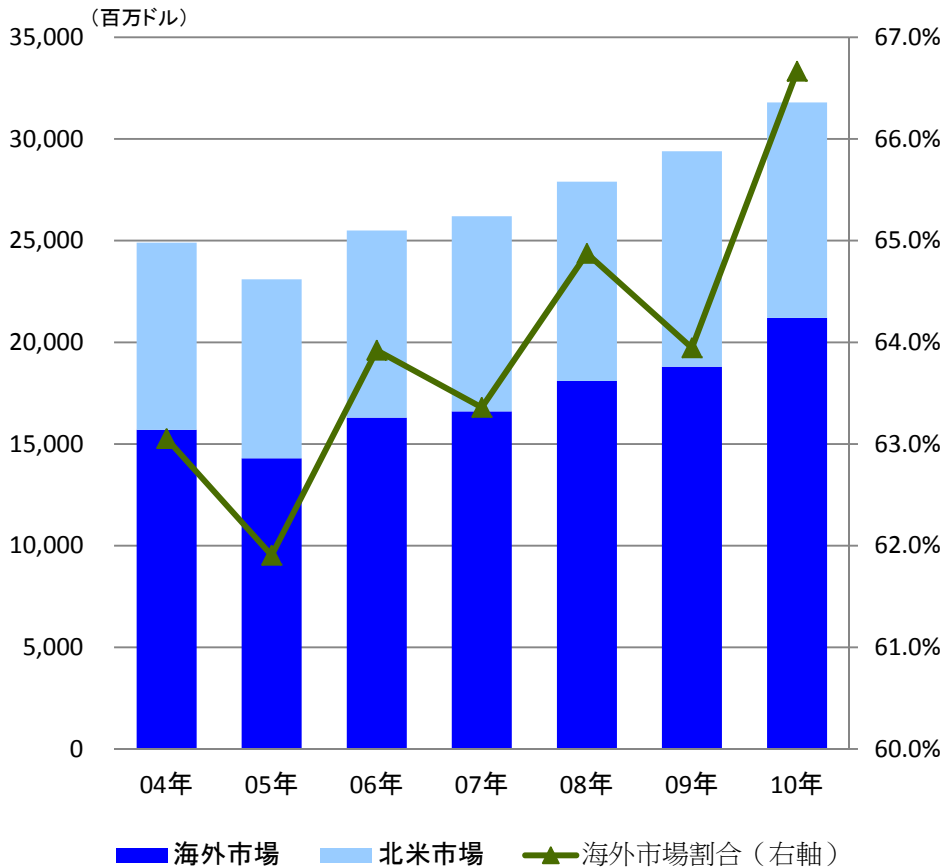
- ・地元若手クリエイター
- ・食、観光等の地元企業
- ・地元放送局
- ・地元制作会社、ロケーションコーディネート会社、機材会社等

- ▶ 日本の映画・アニメ・TV番組・ゲーム・書籍等のコンテンツは「クールジャパン」として海外から高く評価されているが、海外輸出比率は5%※で、成長するアジア諸国等の需要を取り込めていない。
※米国のコンテンツ産業の海外輸出比率(17.8%)の約3割にすぎず、輸出のうち家庭用ゲームソフトの売上が97%以上を占める。
- ▶ アジア諸国を含むグローバルなコンテンツ市場に進出するためには、米国映画市場(ハリウッド)をゲートウェイとするのが近道。
- ▶ 産業革新機構が、100%出資による新会社「**(株)All Nippon Entertainment Works**」の事業開始に向けて準備中(10月末に書類手続上、設立登記)。
 <期待される役割>
 - ◆コンテンツの**権利関係を整理**して映画化権等を取得する
 - ◆**当初からグローバル展開を視野に入れた大規模な企画開発**を行い、ハリウッドで提案を通す
→日本のコンテンツ業界に海外展開のノウハウを蓄積し、対価が国内に還流する仕組みを構築。



- ▶ 北米映画の市場規模は、2010年に300億ドルを突破したが、その内訳を見ると、海外市場拡大の貢献が大きく、その割合は7割程度まで上昇している。
- ▶ 日本映画は、これまでもリメイクにより一定の収益を上げているものもあるが、リメイクの発表後、完成までに時間のかかっている案件が散見。
- ▶ ハリウッド映画の企画開発には、3年程度(場合によってはそれ以上の期間)かかるのが一般的。

米国映画 市場規模の推移



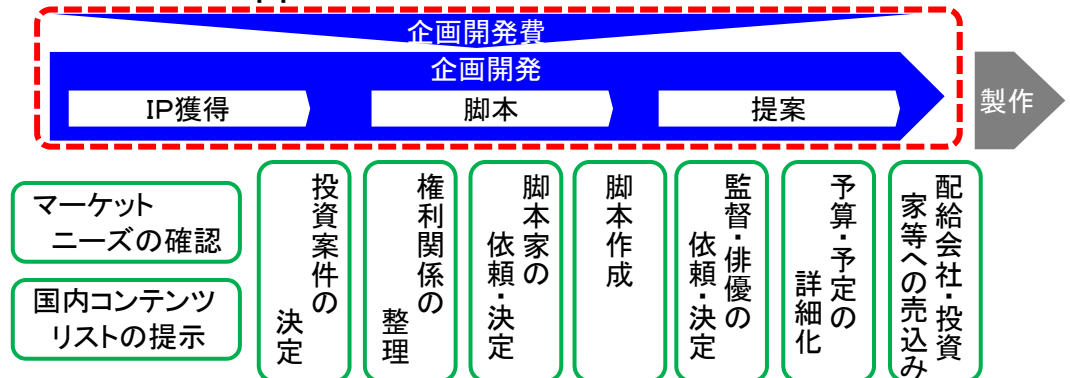
「映画・映像産業ビジネス白書」から作成

【主な日本原作のハリウッド映画】

題名	原作映画	劇場数	興行収入 (百万ドル)	公開年
Godzilla	ゴジラ	3,310	136.3	1998年
The Ring	リング	2,927	129.1	2002年
The Grudge	呪怨	3,348	110.3	2004年
Shall We Dance	Shall We ダンス?	2,542	57.8	2004年
Eight Below	南極物語	3,122	81.6	2006年
One Missed Call	着信アリ	2,240	26.8	2008年
	黄泉がえり	-	-	未定
	Death Note	-	-	未定
	羅生門	-	-	未定
	MONSTER	-	-	未定

【参考】
 ゴジラ2000 (邦画オリジナル) 10百万ドル・2111館
 Godzilla (邦画リメイク) 136.3百万ドル・3310館
 「日本映画の国際ビジネス」、HP: Box office Mojo から作成

【All Nippon Entertainment Worksの事業領域】



- アジア・コンテンツ・ビジネスサミットや日中映像フォーラムなどを通し、国際的な連携を支援。
- クリエーターとプロデューサーの両面について、海外に通用する有望な人材の発掘・育成を実施。

アジア・コンテンツ・ビジネスサミット

- 平成23年2月21日、22日、タイ王国(パタヤ)にて開催。
- 基調講演、各国の国際共同製作や人材育成策、市場動向、海賊版対策について発表。また、アジアにおける教育系コンテンツの展開を中心とした企業プレゼンテーションを実施。さらに各国企業とのビジネスマッチングを開催。

参加団体等

- 【中国】国家広播電影電視総局、CCTV
- 【香港】香港映画発展局、サロンフィルム、クリエイト香港、マッコリーキャピタル
- 【韓国】文化体育観光部、韓国コンテンツ振興院、世宗大学校、CLKOエンターテイメント
- 【マレーシア】マルチメディア開発公社、Big Beak、Wong Jin Nee & Teo法律事務所 他
- 【フィリピン】フィリピンクリエイティブ経済委員会
- 【シンガポール】SIMFマネジメント、ゴビシンガポール、TTGアジアメディア
- 【タイ】文化省現代芸術文化事務局、イマジマックス、GMMタイハブ 他
- 【日本】経済産業省、DCAJ、UNI JAPAN、吉本興業、角川書店、IEインスティテュート、小学館、NHKエデュケーショナル 他
- 【米国】フィルムファイナンス

プロデューサー人材育成

- 我が国コンテンツ産業の重要課題は海外市場の獲得であるが、これを担うプロデューサー人材がほとんどいないのが実情。
- 米国等最先端の映画・映像製作関連の教育機関への留学を支援する制度を創設し、コンテンツビジネスに係る法務・会計・資金調達に係るグローバルスタンダードの習得を促す。

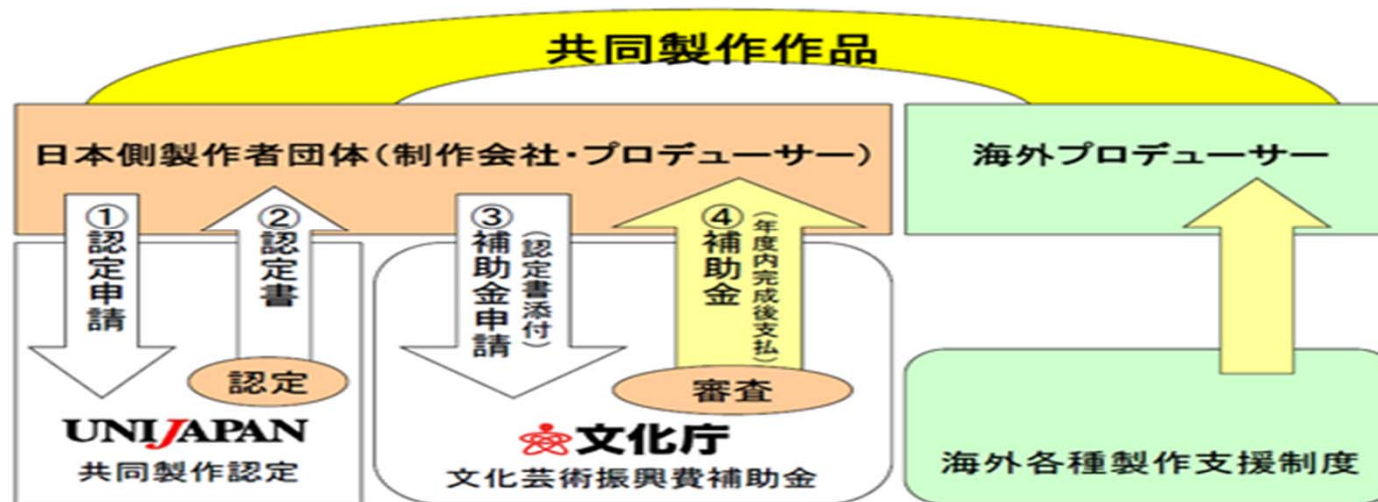
日中映像フォーラム

- 東京国際映画祭の実施期間に合わせ、中国政府関係者や映画、アニメ産業界のキーパーソンと直接交流できる場を設置。
- 日中両国のプロデューサーや有識者、メディア関係者間の交流を通して日中共同製作を推進し、海外ビジネス展開の更なる活性化を図る。

クリエイター人材育成

- コンテンツ制作を支える広告費の減少等を背景に、若手クリエイターの表現の場が減少。
- こうした若手人材に短編映像制作の機会を提供し、自らの才能を開花させる場を設定する。

図解：国際共同製作支援制度—申請から支払までの流れ—



○文化芸術振興費補助金(国際共同製作映画への支援)について

映画による国際文化交流を推進し、我が国の映画の振興に資するため、国際共同製作による映画の製作活動を支援する。

【予算額】

平成24年度要求額：200,000千円(前年度予算額：200,000千円)

【対象】

- ・上映時間1時間以上、補助対象経費1億円以上の劇映画及びアニメーション映画
- ・公益財団法人ユニジャパンにより「国際共同製作」と認定された映画

【補助額】

自己負担金の範囲内で、補助対象経費の5分の1以内の定額、ただし最高限度額5,000万円

【応募期間(平成23年度実績)】

平成23年8月8日(月)～平成23年8月12日(金)

○ユニジャパン国際共同製作認定について

平成23年度より、経済産業省等が推進する国際共同製作に関連し、公益財団法人ユニジャパンが実施する国際共同製作映画の認定制度。

我が国の映画製作者の国際展開を支援推進するため、日本の製作者団体が参加する映画の国際共同製作のうち、①日本の製作者の海外市場獲得に寄与し、②文化交流・人材交流を通じた産業のグローバル化や文化の質的向上に寄与する国際共同製作かどうかを審査し、認定する。

【対象】

我が国を含む二か国以上で共同製作される劇場用長編映画(劇映画及びアニメーション映画)

【申請期間(平成23年度実績)】

平成23年6月27日(月)～平成23年7月8日(金)

※予算額 0.9億円

◎概要

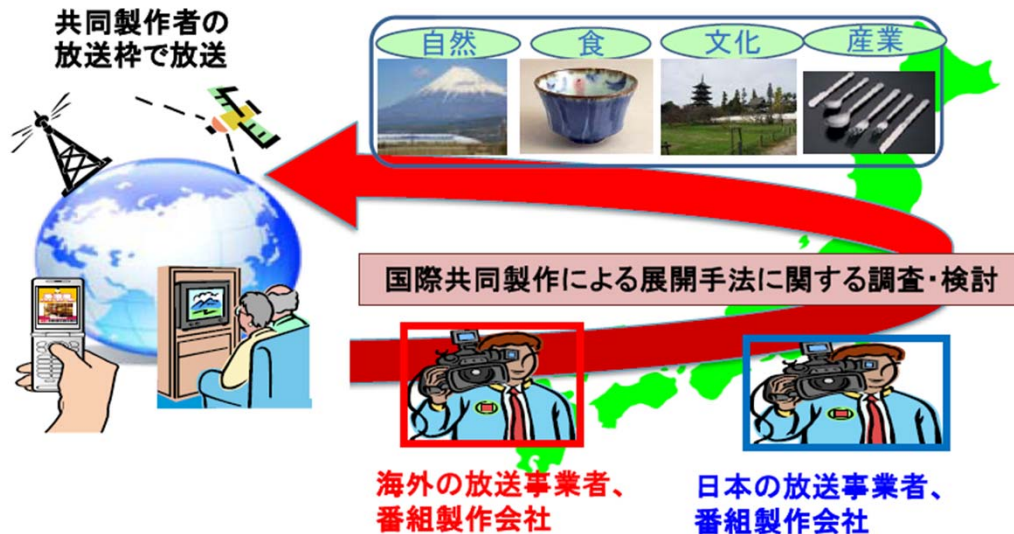
地域の放送局や番組製作会社等が、各地の物産・観光資源等を紹介するコンテンツを海外の放送局と共同製作し、それらのコンテンツを海外の放送局等を介して継続的に世界へ発信する機会を創出することにより、地域コンテンツの海外展開の取組を促進。



◎成果

- (1) 海外の放送局と連携して海外で受容性の高いコンテンツを製作する機会を創出することによって、経済情勢等の影響を受け疲弊している**地域コンテンツ製作力を再生・強化**
- (2) 各地域の物産・観光資源等の地域情報を映像コンテンツにより効果的かつ継続的に世界へ発信することにより、**我が国の認知度向上、観光客誘致、地域の物産販売を促進し、地域経済を活性化**

(1) 調査研究のスキーム



(2) 本数等

昨年度組成した地域協議会等を通じて
15本を製作予定

(3) スケジュール

8月以降: 番組製作(共同製作)
9月~2月: 番組放送
2~3月: 効果検証

「国際共同製作による地域コンテンツの海外展開に関する調査研究」 製作コンテンツ

以下15本の番組については、9月～2月の間で放送を予定。

製作主体名	放映国・地域	放送局名	放送局概要	番組名／概要
北海道放送	台湾	中華電視公司	地上波テレビ放送局。台湾の三大老舗テレビ局(老三台)のひとつ。教育文化、レジャーチャンネル等を有する。	日本の特別天然記念物・タンチョウが辛亥革命100周年を迎える台湾にお祝いとして北海道から贈呈される。そのタイミングに合わせてタンチョウと北海道東部(釧路湿原、十勝地方)の魅力を紹介する番組を制作。
北海道テレビ	ベトナム	HTV	ベトナムで国営ベトナムテレビに次いで2番目に大きなテレビ局ネット。7時から24時まで(アナログ放送とデジタル放送の両方で)7チャンネルを放送。	ベトナムに進出した日本企業の理念を、ベトナム人の目線で紹介。ルーツやベトナムへの想いを探る。(NEC、ニトリ、道栄紙業)
山形テレビ	台湾	JET-TV	平成8年に、住友商事、TBS、MBS、HTB及び台湾地元資本などが出資し、東アジア向け衛星放送会社として設立。	震災を乗り越える『奥の細道』～芭蕉の足跡たどって～ 元気な東北 発見の旅～留学生が案内するとうほくの魅力～ みちのく伝統工芸紀行～東北発!世界で愛される職人技～
テレビ岩手	フィリピン	GMA7	フィリピンの主要局グループGMA Networkの中のフラグシップチャンネル。フィリピン全国をカバーするVHF46局とUHF2局を有する。	岩手県内の被災フィリピン人の動向や被災地の状況を報告。「マニラ育英会」の被災フィリピン人援助活動や、宮城県国際交流協会を訪問し同県内のフィリピン人被災状況、その後の暮らし等をヒアリング。
東北放送(予定)	シンガポール	Mediacorp	シンガポールのメディア企業であり、主に、テレビ、ラジオ、新聞、映画制作が中心。 ・チャンネル5 ・チャンネル8 ・チャンネルU ・セントラル ・スリア ・チャンネルニュースアジア ・TVモバイル	TBSとシンガポールの総合メディア企業・メディアコープとの業務提携第一弾となる共同製作ドラマ「ムーンケーキ」のスピノフ企画。 主演俳優(シンガポール人)が被災地を訪問。
テレビ山梨	中国	中国国際放送(CRI)	同国唯一の国家国際放送局。中国の共通語(普通話)及び4つの方言、そして38の外国語を用いて、首都北京から約200ヶ国に向けて放送を行っている。	山梨県の魅力を「日本一」をキーワードに紹介。 富士山、富士五湖、忍野八海、富士急ハイランド、フルーツ、ワイン等。
テレビ新潟 プロメディア新潟	中国	LIC	中国の複数省・都市の放送局(地上波・ケーブル)を束ねるドキュメンタリー番組のシンジケーション(*)ネットワークを活用。 (* 放送局のある時間帯の枠を利用して他局製作のコンテンツを放送すること)	日本国内で最後まで残った野生の朱鷺が絶滅した佐渡で、朱鷺を人工増殖させて、再び自然界に放鳥し繁殖させる取り組みが続けられている。朱鷺の増殖過程を軸にして、朱鷺復活にかけられる佐渡の人々の取り組みや思いを描く。
テレビ金沢	韓国	全州放送	全羅北道全域、忠清南道の南部を放送エリアとする民間放送局。1997年9月27日に開局。	石川県立歴史博物館の所蔵品を展示して「加賀藩の文化」を紹介する展覧会が韓国の国立全州博物館で開かれる。秀吉の朝鮮戦略の影響もあり、「近世の日本」の歴史に関する展覧会は、これまで韓国で開催されたことがなかった。両国の学芸員の奮闘ぶりを追いかけ、博物館が生み出す日韓交流を取材する。
石川テレビ	韓国	TCN (テグケーブルネットワーク)	大邱広域市及び、慶尚北道で90%以上の人口 カバー率を誇るケーブルテレビ会社。	韓国富裕層向けインバウンド石川県観光3Dプログラム。 3D-金箔、加賀友禅、茶屋街、白山登山等
中部日本放送	韓国	朝鮮放送 (朝鮮日報系)	2011年12月開局予定。中部日本放送が0.44%出資。	東海3県の物産・観光資源等を韓国リポーターが紹介する。 ①愛知県・名古屋に特化した内容(歴史を学び、文化に触れ、安らぐテーマ) ②名古屋から下呂・高山の旅(ショッピングから温泉、風景、グルメ)
EXCO-OSAKA K&Y	中国	SiTV(星尚酷)	デジタルテレビ及びデジタルテレビの番組供給。上海では唯一の有料デジタルテレビコンテンツ放送事業者であると同時に、全国デジタルテレビ有料チャンネル運営キャリア、マルチメディアコンテンツ提供者でもある。	「食の安全、担保します」 風評被害対策というテーマにおいて、放射能(線)被害に絞って関西地域を中心に取材。
テレビ新広島 /TSS	中国	大連広播電視台	第1チャンネル:新聞総合頻道(ニュース総合) 第2チャンネル:生活頻道(生活) 第3チャンネル:公共頻道(公共) 第4チャンネル:文体頻道(文化体育) 第5チャンネル:影視頻道(映画) 第6チャンネル:少兒頻道(子供) 第7チャンネル:財經頻道(金融) 第8チャンネル:電視購物頻道(テレビショッピング)	「桜の風」 中国・瀨戸内地方の美食・観光・伝統・産業等を紹介。 ①瀨戸内 体験旅 ②ショッピング ③温泉&グルメ
愛媛朝日放送	タイ	Channel3	バンコクを本拠地とする総合エンターテインメントチャンネル(政府系のメディア企業MCOIが所有、民間会社が運営する民放局)。	タイの人気女優のティックさんが、日本の心を伝えるスポットを巡る。交通手段には鉄道を利用し、日本ならではの駅弁を楽しみながら四国の食やご当地グルメを紹介。
TVQ九州放送	韓国	光州放送	光州広域市、全羅南道、全羅北道の一部を放送エリアとする民間放送局。1995年5月14日に開局。	九州各地には特徴ある魅力的な観光列車がある。主に車窓風景を中心に、景観のなかを走る列車、車内の様子、その土地ならではの郷土料理、秘境温泉などを盛り込んで、韓国の視聴者の心に響くような楽しい列車旅を紹介。
沖縄テレビ	マレーシア	Media Prima	マレーシア最有力民間テレビ会社。 TV3: 同国初の商業テレビ。視聴率トップを維持。 NTV7: ドラマ、ショー番組が中心。 TV9: 娯楽やスポーツなどの英語放送が中心。 8TV: 欧米映画中心の番組編成。	空手の聖地OKINAWAを海外の視聴者に紹介する。 マレーシアからやって来た空手マンが、聖地OKINAWAの達人に弟子入り。

(参考)H22予算施策「地域コンテンツの海外展開に関する実証実験」作製したコンテンツ

海外放送局名	国	言語	協議会	制作主体	番組名
Channel J 2010年11月から2011年2月 【本放送】第4金曜日21:00-21:30、21:30-22:00 【再放送】翌々日曜日、翌月第4金曜日 【合計】3回放送（1コンテンツあたり） シリーズタイトル：「行こう！日本各所大探検」	韓国	韓国語	北海道	TVhテレビ北海道	「豊潤の大地・北海道～水の輝きにビジネスチャンス！」
			東北	山形テレビ	「やまがたTOJI紀行～やまがた湯治文化の魅力」
			東北	IBC岩手放送	「おでんせ いわて」
			関東	東京メトロポリタンテレビジョン	TOKYO REAL CLOTHES (仮)
			東海	テレビ静岡、富士テレネット	「日本へ行くなら静岡がオススメ！～富士山を食べつくす1泊2日の旅～」
			近畿	関西テレビ、メディアプルボ	Cyber Tour JAPAN!
			中国	山陰中央テレビジョン、TSK	“和”のかほり山陰・山陽～美・自然・神秘をめぐる～
九州	サガテレビ	「九州 やきものを歩く」			
Channel News Asia 【本放送】木曜日19:30- 【再放送】最大で3回 【合計】最大で4回放送 (1コンテンツあたり) シリーズタイトル：Wonderful Japan	汎アジア	英語	北海道	UHB北海道文化放送	「北海道ガーデンストーリー」 Hokkaido Garden Story
			東北	仙台放送	「6日間東北一周」 Around the Tohoku in 6 Days
			関東	テレビ神奈川	「行こう！ 娯楽的工場見学 ～驚きの日本・モノづくり紀行～」 Exciting Factory Tour
			近畿	K & Y Distribution LLP	SAKEを知っていますか？ ～新しい日本酒の誕生～ Do you really know sake?
四国	西日本放送、アックス	「SHIKOKU城下町」～島で見つけるニッポン出会いの旅～ Castletown of Shikoku			
CTi中天電視 2011年1月下旬から2月 【本放送】土曜日・日曜日 18:00-18:30 【再放送】なし 【合計】1回放送	台湾	中国語	関東	テレビ神奈川	決定！ベストプラン神奈川プレミアム・パトルツアー
			東海	中京テレビ放送、中京テレビ映像企画	「秘伝！日本旅絵巻～中部地区満喫図録～」(仮)
			近畿	毎日放送	日本の名水100選 ～関西の「水」をめぐる旅～
			中国	テレビ新広島、中国放送、RCC	瀬戸内～多島美と親和の国～極上サイクリングジャーニー
			沖縄	沖縄テレビ放送、沖縄映像センター	オキナワ！沖縄！OKINAWA!
JIB-tv (日本時間) 【本放送】毎週金曜日9:30/13:30/17:30/21:30 翌土曜日1:30/5:30 【合計】6回放送	グローバル	英語	北海道	STV札幌テレビ	「不思議遺産オホーツク」
			信越	信越放送	「長寿の秘密は食にあり～信州郷土食グルメガイド～」
			東海	東海テレビ放送	「日本ど真ん中！感動楽園の旅」 Destination Japan's Heartland
			中国	広島放送・山口放送・日本海テレビジョン放送	新発見！音で巡る中国地方観光物語 ～観た、聴いた、音の旅人～
			九州	テレビ熊本	「探訪！ジオパークアイランド九州」
SBS CNBC 1月29日から5週連続土曜日放送 【本放送】土曜日18時- 【再放送】翌日曜日18時 【合計】2回放送（1コンテンツあたり）	韓国	韓国語	東北	東北放送	「TOHOKU 4 Seasons」
			北陸	福井テレビ	「This is Japan's Hokuriku Region」
			北陸	北陸朝日放送、フィックス	「Inside Report from Hokuriku」
			四国	高知放送、RCCプロダクション、西日本放送、アックス、四国放送、四国放送サービス、南海放送、南海放送サービス	「Natural Healing Island Shikoku」～自然の恵み、癒しの四国～
			九州	長崎放送、大分放送	「虹のアーチ 九州の石橋を巡る旅」
國興(Super Group) 12月12日-1月9日の間の毎週日曜日 【本放送】日曜日14:00-14:30 【再放送】なし 【合計】1回放送 シリーズタイトル：日本魅力之旅	台湾	中国語	東北	テレビ岩手	「千昌夫のニッポン北国の春」～岩手、秋田、青森の魅力～
			近畿	朝日放送・東通企画	歴史街道 世界遺産の旅 ～日本仏教の聖地 比叡山・高野山～
			四国	山陽放送、テレビ高知、あいテレビ	「体験！四国まるごと大図鑑」～厳選！四国生グルメはこれだ！～
			九州	テレビ大分、サルプロ	「九州温泉ものがたり～あの名湯秘湯をたずねて～」
			九州	宮崎放送、南日本放送	「黒潮の恵み お魚天国・九州」
上海電視台纪实頻道(SMG) 2011年1月中旬2月下旬 【本放送】毎週土曜日・日曜日20:30- 【再放送】1回 【合計】2回放送（1コンテンツあたり） 番組枠名：旅行者	中国	中国語	北海道	HBC北海道放送	「留学生プレゼンツ！ The Cool Hokkaido」
			東北	山形放送	「小林綾子の奥の細道旅ごころ」
			関東	山梨放送	「富士山・温泉・グルメ！これぞ”ニッポン”の旅」
			信越	テレビ新潟放送網、中央映画社	「鮭のまち・歴史のまち・温泉のまち 村上」
			北陸	富山テレビ、富山テレビ事業部	「YOKOSO！ 越の国へ」
			東海	名古屋放送、名古屋東通企画	「中部三県 家康・千姫面白ツアー」
			北陸	石川テレビ、イノセンス	「SAKEツーリズム」
			中国	山陽放送・山陽映画	「体験！Japanese “WABI” “SABI”～着物で巡る中国地方体験旅行」
			四国	南海放送、南海放送サービス	「空海の旅」が生まれた舞台～四国～
九州	TVQ九州放送	「孫文を助けた九州人たち ～辛亥革命から100年、近代日中交流の原点を訪ねる～」			

施策の概要

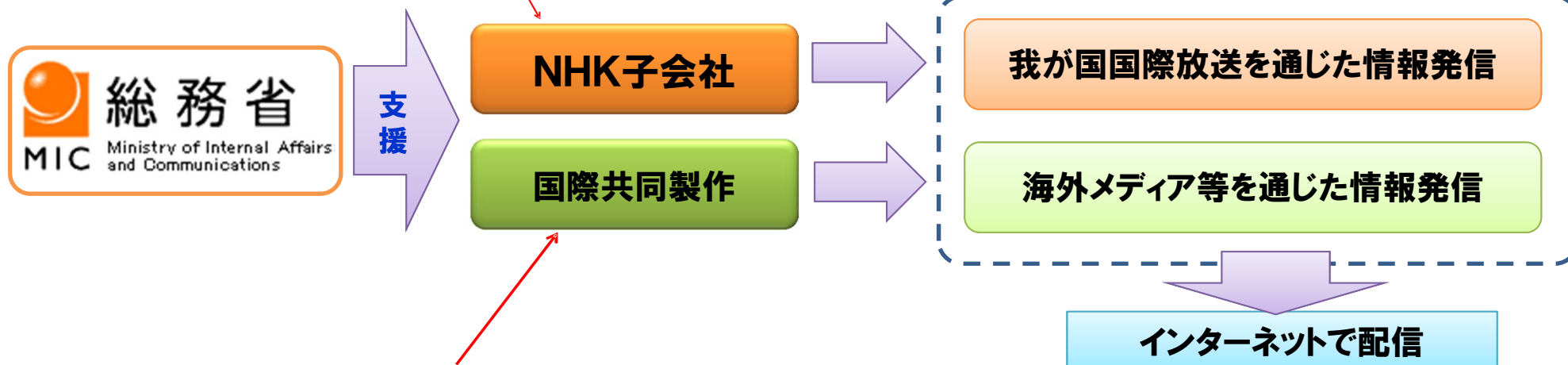
東日本大震災の被災地の復興をアピールするとともに、風評被害対策のため、

- ①復興をテーマとした番組を委託により製作し、NHK子会社の外国人向け海外放送のネットワークやインターネットを活用して世界に配信する。
- ②海外放送事業者と国内放送事業者が震災からの復興をテーマとした放送番組を共同製作することを推進するため、海外放送事業者と国内放送事業者等とのマッチングを支援

施策の効果

本施策の実施により。今回の震災で毀損した「安心・安全」といった「日本ブランド」のイメージを回復し、風評被害を防止する効果が期待される

風評被害対策に係る我が国国際放送の拡充(番組の追加及び多言語化等)



海外メディアと国内放送事業者とのマッチング等

平成23年度第3次補正予算要求額
一般会計 809百万円

諸外国における海外の放送番組に関する主な規制

【中国】

- ・ 海外のドラマ・映画は1日の全放送時間の25%以下とする。（ドラマ・映画以外の外国番組は1日の全放送時間の15%以下とする。）
- ・ ゴールデンタイム（午後7時～10時）では海外ドラマを放送してはならない。

【韓国】

- ・ 日本のバラエティ及び単独製作のドラマは地上波で放送できない。
- ・ 地上波での国内製作番組比率を毎四半期の全放送時間の80%以上とする。（ジャンル別では国産映画は年間25%以上、国産アニメは年間45%以上、国内音楽番組は年間60%以上とする。）

【欧州】

- ・ EU指令に基づき、欧州製の番組を放送時間の50%以上とする。

諸外国における海外番組規制の緩和に向けた総務省の取組み

【中国】

- ・ 日中経済パートナーシップ協議を通じて数次にわたり海外番組規制の緩和を要望
- ・ 日中映像交流事業等による放送番組の交流を通じて規制緩和に向けた機運を醸成

【韓国・欧州】

- ・ 民間のニーズを踏まえつつ、バイ協議等を通じて規制緩和の働きかけを行う予定

- 中国は成長著しい新規市場でありながら、他の諸外国に比べ厳しい市場参入規制（外国映画の上映制限、外国ドラマ・アニメの放送規制、輸入音楽・ゲームの販売規制等）が存在し、我が国コンテンツの流通が大きく制限されているため、重点的な対応を実施。
- 日中韓文化コンテンツ産業フォーラム、アジア・コンテンツ・ビジネスサミット等を活用して、国際共同製作等を推進しつつ、規制の撤廃・緩和に向けた対策を実施しているところ。
- 昨年5月の日中首脳会談において、温家宝総理の提案を受け、「映画、テレビ週間」及び「アニメ・フェスティバル」を本年に日中双方で開催（日中映像交流事業）。6月には、日本側開幕行事や日本映画関連イベント、11月には日本アニメ関連イベントを中国で開催。

中国における主なコンテンツ参入規制

映画	<ul style="list-style-type: none"> ○劇場用映画について、輸入映画数の上限は年間約50本。 (うち、利益分配方式(主に米映画)の輸入枠は約20本) ○劇場用映画について、国産映画の年間上映時間を総上映期間の3分の2以上。 ○映画配給について外資の参入を禁止。 ○外資独資による映画館設立の禁止。
テレビ (ドラマ、アニメ含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○各テレビ局が輸入することができる海外テレビ番組数に制限が存在。 ○海外テレビ番組(映画、ドラマ、アニメ等)の17時～22時の時間帯の放送禁止。 ○海外テレビ番組は一日の全放送時間の15%以内。 ○海外アニメの放送量の制限(アニメ放送総数の39%以下)
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○販売、ネット配信、レンタル等への外資規制。
ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ○海外ゲーム機の輸入及び販売の禁止。 ○販売、ネット配信、レンタル等への外資規制。

中国政府との対話の枠組み(コンテンツ関係)

